



空を見上げると、雪が

学 園 長 小 島 澄 人

今年度、初雪。朝からそわそわ、なにか落ち着かない。雪の予想、今日の保育は楽しみだ。朝から電話、「今日、保育、ありますか。」「もちろん、ありますよ、楽しみです」。また、電話です、教育実習生の学校の先生から、「今日、やっていますか」「もちろん」。実習園を訪問すると、「雪の為、休園」の幼稚園が結構あるようでした。なぜなの、これぐらいの雪で休園だと、雪国の幼稚園は・・・、けどうちはやっています。過敏にならず、せっかくの「雪の中の保育」ができるのです、こんな機会は取りたくてもとれません。

職員室より外を見ていると、園庭が一面真っ白になってきました。その時、ゆり組のこどもたちが整然と端っこを歩いています、じっと見ていると、なんと全員がジャンプして人工芝一面の雪の上に「僕の、私の足跡」を付けました。その後は楽しそうに遊ぶ姿に、うれしくなりました。それからは次から次にやってくる子どもたちの素敵な雪遊びが始まりました。何時間も、いや昼食後も遊んでいる姿、本当にうれしかったです。先生も服を着替えるほどに遊びこんでいました。裏山でも雪合戦にそり滑り、本当に楽しかったようです。ひつじ組では、空を見上げて雪を顔で受けたり、黒い紙で雪の結晶を見てみたりと、一日が楽しい雪の一日でした。

大学を卒業して就職、同僚に連れていかれたのが、新潟のみつまたスキー場でした。初めてのスキーの板をはかされ、リフトに乗り、山の山頂に、そこからは意図的に一人にされて、苦労に苦労して下まで降りてきました。何とか滑れるようになりました。実は山頂で目にしたのが、全面雪景色、本当にびっくりしました。なんて美しいのか、それを見ることができただけで、ここに来た甲斐がありました。同じく、幼稚園に就職した年の冬のこと、幼稚園の裏山で和太鼓を持ち出して、砦の上で太鼓をたたいて、下の幼稚園の左右から、園児を二手に分けて、真っ白な裏山で思いっきり、雪合戦をしました。すごかったのを思い出します。やはり、めったにない「雪の中の保育」、ありがたく受け入れ、休むことなく楽しんだ子どもたちと先生たちに感謝の一日でした。

幼稚園の父母の会の役員を乗せて小野路の山を、細い道を走り、「小野路農場」につきました。藪になり、遊び場になるかな、そう思って手にした山でした。古い農家は人が住めるようにし、荒れ果てた畑や野原、昔は畑だった広大な山、ここを学園の、系列園の農場にしようと、やっとみられるようになりました。私一人では、と思い、柿の実、玉川中央、たけとんぼ保育園、とちの実保育園、の男性たちがコツコツと手を加えてきた結果です。今では玉川中央幼稚園、たくさんの保育園の畑になっています。そこに、柿の実の役員の取材、広々とした畑、斜面に植えられた果樹、見渡すと遠方に富士山が見える場所、そこが「小野路農園」

です。何年か先に、柿の実狩り、ミカン狩りができればとも思います。柿の実の門で販売されている野菜、果樹、小野路からです。いつか、ピクニックにでも行きましょう。

